



2021年 2月12日
第98号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「2021年3月ダイヤ改正」

2月8日

に関する申し入れ団体交渉を行う！③

6. ライナー廃止に伴い、各駅におけるライナー券改札要員の今後について明らかにすること。

会社回答：湘南ライナー等の運転取りやめにおいて、作業内容の一部に変更がある。なお、作業内容は作業ダイヤで示していくことになる。

組合：作業ダイヤの変更はあるのか？

会社：ライナーの運転取りやめに伴って、ご案内する部分は違う内容にしていく。これに伴う要員の変更は特にない。変更点は作業ダイヤの中で示していく。

7. 乗務職の担当業務間の相互運用について、実施する区所およびスケジュールを示すこと。

会社回答：社員の運用については、就業規則に則り取り扱うこととなる。

組合：具体的に決まっているものがあれば示してほしい。

会社：総体的については、どこの区所でどの程度出るといえるものは現時点で決まっていらない。今後において相互運用はやらせていただくということを書いた。具体的なスケジュールは決まっていらない。

組合：相互運用の考え方は「多様な働き方を経験してスキルアップを図る」ということで、間違いないか？

会社：その通り。

組合：対象となる職種で考えているものはあるか？

会社：乗務主務から乗務係までの間の方は対象となる。

組合：意見が相違する場合に、我々としては強制的に行ってほしくない。

会社：強制的に行いたいというわけではなく、社員の多様性や視野の拡大を求めて行っていくもの。管理者とコミュニケーションをしっかりと行っていきたい。

組合：運用にあたっては区所の判断で行うのか？

会社：一番社員を知っているのは区所なので区所の中で判断される。社員の運用については区所のみで判断するのではなく、会社も含めて判断する。

組合：具体的なスケジュールがあるわけではないこと、丁寧にコミュニケーションを取りながら実施していくということを確認する。

8. 今後の車掌業務の役割について明らかにすること。

会社回答：就業規則に定められているとおり、車内における営業及び秩序の維持、列車の運転取扱いに関する等の業務である。

組合：将来的なビジョンについて示すこと。

会社：いつ実施するとは決まっていらないが、今後ワンマンやドライバーレスあるということ踏まえて、自分の将来設計をイメージしていただきたい。

組合：今後ワンマンを目指していくことを踏まえたうえで、車掌として残っていく手段として、ワンマンを導入せず車掌が残る線区で車掌を極めたいという考えもあって良いということか？

会社：多様な経験をしてほしいというのが考え方。車掌を極めるということも一方ではあると思う。ただ全ての区所がワンマンになったら、「私は車掌をやりたい」と言っても物理的にダメとなる。車掌を続けたいということは否定することではない。

組合：車掌という職があるとき、会社はその業務量に合わせた車掌の要員は必ず確保するということがよいか。車掌の養成についても需要と供給を見て、必要に応じて進めていくということよいか。

会社：必要な要員については確保する。車掌という業務があれば、それに対する必要な要員を確保する。養成もしっかりとやっていく。

組合：車掌の兼務というのは、現場で働く車掌からは不安に感じている。会社の考え方と現場で働く社員の考え方について、コミュニケーションをより丁寧にやっていただきたい。

会社：管理者が社員把握をし、将来設計を一緒に組み立てていく、これがあるべき姿。

④へ続く